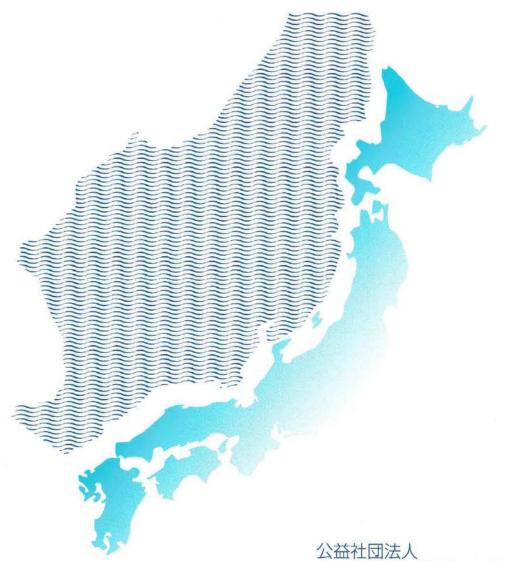
# 会報

第118号



公益社団法人 **日本海海難防止協会**  日本海海難防止協会は、本州日本海沿岸(山口県を除く)及び付近水域における、

海上交通の安全に寄与するため、次の事業を行っております。

- (1) 船舶の航行安全及び海難防止に関する事項の調査研究
- (2) 船舶の航行安全に関する教育指導及び情報の提供
- (3) 海難防止に関する事項の周知宣伝
- (4) その他本協会の目的を達成するために必要な事業



【公益社団法人 日本海海難防止協会が行う事業区域図】

#### アクセス

○新潟駅(JR 信越線)から

徒歩 約 25 分、タクシー利用 約 10 分、 バス利用 新潟交通 中央ふ頭

または北ふ頭 停留所で下車徒歩約5分

○新潟空港から

タクシー利用 約20分、バス利用 新潟交通 空港

○車

国道 113 号線竜が島郵便局前交差点を左折直進、 信号を一つ通過後右折し約 50m



# 目 次

# I 事業報告

I	-1	貳	周査研究	1
	1	岩角	沿沖洋上風力発電事業に係る航行安全調査	1
	1-	-1	作業部会	1
	1-	-2	第2回委員会	2
	2	新》	舄港(東港区)大型客船入出港に係る航行安全調査	3
	2-	-1	作業部会	3
	2-	-2	第 2 回調査会	3
	3	日ス	本海北部海域における小型船舶の安全対策に関する調査研究(青森県地区)	4
	3-	-1	第1回委員会	4
	4	酒日	田港大型客船入出港に係る航行安全調査	5
	4-	-1	第1回委員会	5
	4-	-2	ビジュアル操船実験	6
	4-	-3	作業部会	6
	4-	-4	第2回委員会	6
I	-2	7	平成 28 年度事業推進連絡会議	7
Ι	-3	4	全国海難防止強調運動の推進	8
	1	日ス	本海中部地方海難防止強調運動推進連絡会議	8
	2	東‡	比地方海難防止強調運動推進連絡会議1	0
	3	海冀	難防止強調運動日本海西部地方推進連絡会議1	2
П	会	務	報告	
Ι	[-1]	7	P成 28 年度第 1 回理事会	3
Ι	[-2]	7	平成 28 年度通常総会1	6
Π	[-3	불	業務日誌抄1	8
Ι	[-4]	를 기	業務予定 1	9
Ш	寄	稿	<b>横</b>	
	舞鶴	の神	申様たち(白絲浜神社) 2	0
IV	連	絡	事 項	
	☆ ‡	青報	をお寄せください!!【編集担当からのお願い】2	4
	☆ 詹	簡易	型AIS搭載経費助成について2	4

## I 事業報告

#### I-1 調査研究

#### 1 岩船沖洋上風力発電事業に係る航行安全調査

委員会の構成

(順不同・敬称略)

「委員」

(委員長) 南 清和 国立大学法人東京海洋大学 教授

髙橋 勝 海上保安大学校 名誉教授

久古 弘幸 一般社団法人日本船長協会 副会長

小坂 徳夫 新潟水先区水先人会 副会長 (平成28年6月1日より会長)

竹内 一男 岩船港利用促進協議会 会長

神丸 正広 粟島汽船株式会社 船長

小田 政市 新潟漁業協同組合 代表理事組合長

「関係官公庁」

第九管区海上保安本部 交通部

新潟海上保安部

北陸信越運輸局 海事部

北陸地方整備局 港湾空港部

新潟地方気象台

新潟県 交通政策局

村上市

#### 1-1 作業部会

(1) 開催日: 平成28年5月24日(火)

(2) 場 所:新潟市 ANAクラウンプラザホテル新潟

(3) 議 題:

① 第1回委員会の質疑・対応について

② 通航路における操船検討(ビジュアル操船実験結果)について

③ 航行安全の評価と今後の検討課題について

### 1-2 第2回委員会

- (1) 開催日: 平成28年6月22日(水)
- (2) 場 所: 新潟市 万代シルバーホテル
- (3) 議 題:
  - ① 第1回委員会の質疑・対応について
  - ② 通航路における操船検討(ビジュアル操船実験結果)について
  - ③ 航行安全の評価と今後の検討課題について
  - ④ 報告書構成案について

#### 2 新潟港(東港区)大型客船入出港に係る航行安全調査

調査会の構成

(順不同・敬称略)

「委員」

(委員長) 南 清和 国立大学法人東京海洋大学 教授

池田 英治 海上保安大学校 名誉教授

久古 弘幸 一般社団法人日本船長協会 副会長

小坂 徳夫 新潟水先区水先人会 副会長(平成28年6月1日より会長)

信田 拓志 新潟港船舶代理店会 事務局(平成28年3月まで)

(株式会社リンコーコーポレーション東港支社 船舶業務部長)

(菅原 裕之 "

平成28年4月より人事異動により委員交代)

伊藤 則彦 日本海曳船株式会社 常務取締役

「関係官公庁」

第九管区海上保安本部 交通部

新潟海上保安部

北陸地方整備局 新潟港湾·空港整備事務所

新潟地方気象台

#### 2-1 作業部会

(1) 開催日:平成28年6月3日(金)

(2) 場 所:新潟市 ANAクラウンプラザホテル新潟

(3) 議 題:

- ① 第1回調査会の質疑・対応について
- ② 操船の安全性について
- ③ 航行安全対策案について

#### 2-2 第2回調査会

(1) 開催日:平成28年7月6日(水)

(2) 場 所:新潟市 ANAクラウンプラザホテル新潟

(3) 議 題:

① 第1回調査会の質疑・対応について

② 操船の安全性について

③ 航行安全対策について

④ 報告書構成案について

#### 3 日本海北部海域における小型船舶の安全対策に関する調査研究(青森県地区)

委員会の構成

(順不同・敬称略)

「委員」

(委員長) 日當 博喜 海上保安大学校 名誉教授

三浦 完 日本小型船舶検査機構 青森支部長

佐藤 芳彦 青森県県土整備部 港湾空港課 港政グループ主幹

萩原 康輔 青森港水先人会 水先人

赤石 憲二 青森県漁業協同組合連合会 代表理事会長

髙橋 弘一 青森県小型船舶安全協会 会長 佐藤 守幸 ブルーオーシャンクラブ 会長

竹谷 博則 十三湖マリーナ

「関係官公庁」

第二管区海上保安本部 交通部

青森海上保安部

八戸海上保安部

東北運輸局 青森運輸支局

水產庁 仙台漁業調整事務所

青森地方気象台

青森県 農林水産部

#### 3-1 第1回委員会

(1) 開催日:平成28年6月29日(水)

(2) 場 所:青森市 ウェディングプラザ アラスカ

(3) 議 題:

① 調査・研究の計画(案)について

② 対象海域の特性(気象・海象)について

③ 小型船舶等の現状について

④ 海難の状況について

⑤ 気象・海域情報の提供状況について

#### 4 酒田港大型客船入出港に係る航行安全調査

委員会の構成

(順不同・敬称略)

#### 「委員」

(委員長) 矢吹 英雄 国立大学法人東京海洋大学 名誉教授

池田 英治 海上保安大学校 名誉教授

久古 弘幸 一般社団法人日本船長協会 副会長

松浦 安洋 酒田水先区水先人会 会長

佐藤 健一 酒田海陸運送株式会社 営業部長

稲毛 弘始 日本通運株式会社 酒田支店長

水澤 秀樹 酒田曳船株式会社 取締役社長

髙橋 芳彦 酒田共同火力発電所株式会社 取締役管理部長

川口 良助 酒田石油基地協議会 会長

五十嵐安哉 山形県漁業協同組合 代表理事組合長

齋藤 賢作 山形県小型船舶安全協会 会長

#### 「関係官公庁」

第二管区海上保安本部 交通部

酒田海上保安部

東北地方整備局 港湾空港部

東北地方整備局 酒田港湾事務所

山形地方気象台

酒田市商工観光部 商工港湾課

#### 4-1 第1回委員会

(1) 開催日:平成28年7月1日(金)

(2) 場 所:酒田市 ホテルリッチ&ガーデン酒田

(3) 議 題:

① 大型クルーズ客船の入港計画について

- ② 調査・検討の計画(案)について
- ③ 酒田港の現況について
- ④ 航行環境について
- ⑤ 操船に係る基礎検討について
- ⑥ 操船シミュレーションによる検討方案について

#### 4-2 **ビジュアル操船実験**

- (1) 開催日: 平成28年7月19日(火)~20日(水)
- (2) 場 所:東京都 株式会社MOLマリン シミュレータ室

#### 4-3 作業部会

- (1) 開催日: 平成28年8月23日(火)
- (2) 場 所:酒田市 ホテルリッチ&ガーデン酒田
- (3) 議 題:
  - ① 第1回委員会の質疑・対応について
  - ② 操船シミュレーションによる検討について
  - ③ 係留の安全性について
  - ④ 航行安全対策案について

#### 4-4 第2回委員会

- (1) 開催日:平成28年8月30日(火)
- (2) 場 所:酒田市 ホテルリッチ&ガーデン酒田
- (3) 議 題:
  - ① 第1回委員会の質疑・対応について
  - ② 操船シミュレーションによる検討について
  - ③ 係留の安全性について
  - ④ 航行安全対策について
  - ⑤ 報告書構成案について

## I-2 平成 28 年度事業推進連絡会議

(1) 開催日:平成28年5月25日(水)

(2) 場 所:新潟市 ANAクラウンプラザホテル新潟

(3) 出席者: 下表のとおり

(4) 議 題:

① 航行安全及び海難防止に関する調査研究について

② 海難防止に関する周知宣伝について

③ 船舶の航行安全に関する情報提供について

④ その他

出席者名簿

(順不同・敬称略)

構成機関・団体	役 職 等	氏 名
第二管区海上保安本部交通部	航行安全課長	齋藤 滋
	安全対策課 安全対策調整官 航行安全課長	錦部 忠幸
第八管区海上保安本部交通部	安全対策課 安全対策調整官	中野明弘
	航行安全課長	安光 良博
   第九管区海上保安本部交通部	航行安全課 専門官	大久保 慎
· 另几百四個工体女体的文庫的	安全対策課 安全対策調整官	白幡 圭次
	同安全対策第二係	山田 定信
第九管区海上保安本部海洋情報部	監理課長	鐘尾 誠
另九百匹梅上床 <u>女</u> 本即梅什旧和印	監理課 専門官	木下 英樹
(公財)海上保安協会新潟地方本部	事務局長	髙野 成二
新潟県水難救済会	事務局長	西片富士夫
	専務理事	安藤 眞博
	事業部長	高野 修
(公社)日本海海難防止協会	事業部 主任研究員	檜ヶ谷正道
	事業部 調査員	花棚 景子

#### I − 3 全国海難防止強調運動の推進

#### 1 日本海中部地方海難防止強調運動推進連絡会議

(1) 開催日:平成28年6月13日(月)

(2) 場 所:新潟市 ANAクラウンプラザホテル新潟

(3) 出席者:別記のとおり

(4) 会議次第:

① 主催者挨拶

第九管区海上保安本部 交通部長

② 議 事

平成28年度日本海中部地方海難防止強調運動実施計画

- ③ 連絡事項
  - イ 第九管区海上保安本部 交通部 第九管区海上保安本部の取り組み
  - ロ 新潟海上保安部 交通課 新潟海上保安部における活動
  - ハ 北陸信越運輸局 海事部 小型船舶の安全対策推進及びライフジャケットの着用義務範囲拡大
  - ニ 信越総合通信局 無線通信部 船舶の安全航行のための無線システム
  - ホ 新潟漁業調整事務所 水産庁が行う漁船海難防止のための取り組み
  - へ 新潟地方気象台平成29年度から実施予定の防災気象情報
  - トその他

出席者名簿

(順不同・敬称略)

		出吊有名專		(順个同・	-0X-1/1-1-11/
	構成機関・団体	本	役 職 等	氏	名
	信越総合通信局 無線通信部		航空海上課長	合志	治彦
	   北陸信越運輸局 海事部		首席運航労務監理官	北口	和敏
官	11座活越連輔河 (母事部)		船員労働環境·海技資格課 専門官	大川	真司
公	北陸地方整備局 新潟港湾・	空港整備事務所	沿岸防災対策官	渡辺	朋洋
庁	新潟地方気象台		気象防災情報調整官	林	秀明
	   新潟漁業調整事務所		漁業監督課長	鈴木	光夫
機	利偽低耒調登事務別		漁業監督課 漁業取締係長	髙木喜	<b></b> 「
関	新潟県防災局		危機対策課 参事	近藤	孝一
	实治 II 数 宏 大 立 1 4 4 4 立 7		地域課 災害雑踏係長	新保	秀登
	新潟県警察本部 地域部		地域課 船舶係長	大戸	悟
	船員災害防止協会 北陸信越	支部	事務局長	江口	孝
	公益社団法人 北陸信越海事	広報協会	常務理事 事務局長	大井戸	佐紀夫
	北陸信越旅客船協会		事務局長	土井	秀樹
関	一般財団法人 日本気象協会	新潟支店	支店長	三嶋	宣明
	日本小型船舶検査機構 新潟	支部	支部長	佐藤	忠
	一般社団法人 日本海事検定	協会 新潟事業所			(欠)
係	全日本海員組合 新潟支部		執行部員	藤崎	慎也
	新潟県港湾協会		事務局(新潟県港湾整備課 主事)	中村	翼
団	新潟県水難救済会		事務局長	西方智	富士夫
	新潟県漁業協同組合連合会		専務理事	清田	邦之
	新潟内航海運組合		理事長	山田	一則
体	新潟水先区水先人会                    会長		会長	小坂	徳夫
	新潟海洋少年団		団長	佐藤	勝
	PW安全協会 新潟支部			(2	ζ)
	新潟県セーリング連盟			(2	ζ)
	第九管区海上保安本部	交通部	交通部長	花野	一誠
			企画課長	坂本	勝
			安全対策課長	佐藤	博
			安全対策課 安全対策調整官	白幡	圭次
			同   安全対策第一係長	森本	真人
主			同   安全対策第二係	山田	定信
			航行安全課 海務係長	風岡恒	真一郎
		警備救難部	救難課 専門官	佐藤	正浩
	新潟海上保安部		交通課長	横山	禎
催			交通課 航行管理官付	今野	拓也
	公益財団法人 海上保安協会 新潟地方本部 公益社団法人 日本海海難防止協会		事務局長	髙野	成二
			専務理事	安藤	眞博
			総務部長	木原	弘昭
			事業部長	高野	修
			事業部調査員	花棚	景子

(事務局:公益社団法人 日本海海難防止協会)

#### 2 東北地方海難防止強調運動推進連絡会議

(1) 開催日: 平成28年6月7日(火)

(2) 場 所:塩釜市 塩釜港湾合同庁舎

(3) 出席者:別記のとおり

- (4) 会議次第:
  - ① 出席者代表挨拶第二管区海上保安本部長
  - ② 出席者紹介
  - ③ 特別講演 新たなステージに対応した防災気象情報(仙台管区気象台)
  - ④ 議長挨拶
  - ⑤ 議 事

イ 第1号議案 平成27年度事業報告及び収支決算について

ロ 第2号議案 平成28年度事業計画案及び収支予算案について

ハ その他

出席者名簿

(順不同・敬称略)

		T ·
団体・機関名	代表者	出席者
船員災害防止協会東北支部	支部長 太田 喜一郎	事務局長 阿部 幸一
全日本海員組合東北地方支部	地方支部長 髙橋 雅幸	欠席
東北漁業無線協会	会長 佐藤 亮輔	会長 佐藤 亮輔
東北港運協会	会長 五十嵐 俊明	欠席
東北内航海運組合	理事長 湯村 健介	事務局長 木村 誠
東北旅客船協会	会長 佐藤 昭夫	事務局長 佐藤 健彦
一般社団法人 日本マリン事業協会東北支部	支部長 藤崎 雅実	支部長 藤崎 雅実
NPO法人 パーソナルウオータークラフト安全協会東北地方本部	本部長 中西 宏紀	事務局 境野 友太
公益社団法人 東北海事広報協会	会長 佐藤 昭夫	会長 佐藤 昭夫
一般財団法人 日本海洋レジャー安全・振興協会東北事務所	所長 髙橋 猛	欠席
一般財団法人 日本気象協会東北支局	支局長 佐伯 芳	支局長 佐伯 芳
株式会社 日本船舶職員養成協会東北	代表取締役 髙橋 雅洋	代表取締役 髙橋 雅洋
日本舶用機関整備協会東北支部	支部長 荒井 誠治	事務局長 伊藤 隆雄
公益社団法人 日本海海難防止協会	会長 南波 秀憲	専務理事 安藤 眞博 総務部長 木原 弘昭
公益財団法人 海上保安協会東北地方本部	本部長 太田 喜一郎	本部長 太田 喜一郎
一般社団法人 日本埋立浚渫協会東北支部	支部長 中村 俊智	事務局長 寒河江 利廣
青森県海難防止強調運動推進連絡会	会長 赤石 憲二	青森海上保安部交通課長 村元 勝治 八戸海上保安部交通課長 阿部 富二
岩手地区海難防止強調運動推進連絡会議	議長 上村 勝利	釜石海上保安部交通課長 相馬 雅
宮城地区海難防止強調運動推進連絡会議	議長 松浦 富雄	議長 松浦 富雄 宮城海上保安部交通課長 富岡 忠幸
秋田県海難防止強調運動推進連絡会議	議長 山本 健藏	秋田海上保安部交通課長 田中 良喜
山形県海難防止強調運動推進連絡会議	議長 齋藤 賢作	酒田海上保安部交通課長 佐藤 幸人
福島県海難防止強調運動推進連絡会議	議長 中村 育世	福島海上保安部交通課長 寶達 貴幸
東北総合通信局	局長 岡野 直樹	無線通信部航空海上課長 青山 智明
東北地方整備局	局長 川瀧 弘之	港湾空港防災・危機管理課長 渡辺 淳一
東北運輸局	局長 永松 健次	海上安全環境部調整官 村田 和夫
仙台管区気象台	台長 田中 省吾	気象防災部次長 吉川 一光
運輸安全委員会事務局仙台事務所	所長 長南 賢司	事故調査調整官 渡辺 健
仙台地方海難審判所	所長 野村 昌志	書記官 高田 浩樹
第二管区海上保安本部	本部長 岩並 秀一	本部長 岩並 秀一 交通部長 上山 伸二 交通部企画調整官 和田 卓也 警備救難部救難課長 杉山 勝彦

(事務局:公益財団法人 海上保安協会東北地方本部)

#### 3 海難防止強調運動日本海西部地方推進連絡会議

(1) 開催日: 平成28年6月20日(月)

(2) 場 所:舞鶴市 舞鶴グランドホテル

(3) 出席者: 下表のとおり

(4) 会議次第:

① 議長挨拶

② 第八管区海上保安本部長挨拶

③ 議 題

イ 平成27年度海難防止強調運動の実施状況について

ロ 平成27年の船舶海難発生状況について

ハ 平成28年度日本海西部地方海難防止強調運動実施計画等の策定について

ニ その他

出席者名簿

(順不同・敬称略)

	構成員・関係機関団体等	役 職 等	氏 名
構成員	日本海西部地方推進連絡会議	議長	西川 順之輔
	福井地区	代表	藤田 紀雄
	京都地区	代表	松本 直樹
	兵庫北地区	代表	眞野 豊
	境地区	代表代理	芦塚 正剛
	石見地区	代表	宮下 義重
	第八管区海上保安本部	本部長	奥島 高弘
	公益社団法人 日本海海難防止協会	会長代理	安藤 眞博
	公益財団法人 海上保安協会舞鶴地方本部	事務局長	一瀬 光孝
関係職員	第八管区海上保安本部交通部	交通部長 企画課長 航行安全課長 航行安全課 専門官 安全対策課長 安全対策課安全対策調整官	髙野 昌浩 智勇明 山本本 由明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明 明
- 関	第八管区海上保安本部警備救難部	救難課長	田中 慎一郎
係	敦賀海上保安部	交通課長	長谷川 進
機関	舞鶴海上保安部	交通課長	岩﨑 信之
寸	境海上保安部	交通課長	丸橋 隆也
体等	浜田海上保安部	交通課長	上村 公一
₹	近畿運輸局京都運輸支局	首席運輸企画専門官	稲澤 文啓
	公益社団法人 日本海海難防止協会	総務部長	木原 弘昭

(事務局:公益財団法人 海上保安協会舞鶴地方本部)

## Ⅱ会務報告

#### Ⅱ - 1 平成 28 年度第 1 回理事会

- 1 開催日 平成28年5月10日(火)
- 2 場 所 ANAクラウンプラザホテル新潟

新潟市中央区万代5丁目11番20号

- 3 理事の現在数、出席者数
  - (1) 理事の現在数 23名
  - (2) 出席者数

出席理事 16名

監事 2名

#### 4 議事次第

#### 議事

#### 決議事項

第1号議案 平成27年度の事業報告及び決算の書類の承認について

第2号議案 役員候補者の選任について

第3号議案 規程の制定及び改正について

第4号議案 総会の日時、場所及び目的である事項の決定について

第5号議案 常勤役員の報酬の承認について

報告事項

業務を執行する理事の職務の執行の状況について

#### 5 議事の経過及びその結果

(1) 定足数の確認

事務局から定款第38条に定める定足数を満たしている旨の報告がなされた。

(2) 議長及び議事録の署名

定款第37条の規定に基づき南波会長が議長となり、議事録の署名は定款第42条の規定に基づき、南波会長(代表理事)、髙橋監事、水野監事とした。

#### (3) 議案の審議状況及び決議結果等

#### 第1号議案

議長の求めに応じ、事務局から平成27年度の事業報告及び決算の書類について 説明した。

議長は、監事に監査報告を求め、髙橋監事より監査報告書の通り指摘すべき事項 はない旨報告があった。

次いで、議長が平成27年度の事業報告及び決算の書類の承認の賛否を諮ったところ、出席理事全員異議なく可決し、総会に上程することに決した。

#### 第2号議案

議長は、当法人の理事3名が人事異動等により総会終了後辞任することから、その補欠として総会の承認を得る役員候補者を選任したい旨、また、候補者からは事前に選任された場合には就任を承諾するとの内諾を得ている旨説明し可否を諮ったところ、出席理事全員異議なく次の者を総会の承認を得る役員候補者に決した。

理事候補者 植 木 豊 株式会社植木組新潟支店 支店長 理事候補者 小 坂 徳 夫 新潟水先区水先人会 水先人 理事候補者 山 田 浩 一 東洋建設株式会社新潟営業所 所長

#### 第3号議案

議長の求めに応じ、事務局から規程の制定及び改正案について説明した。

次いで、議長が、規程の制定及び改正の可否を諮ったところ、出席理事全員異議なく「特定個人情報等取扱規程の制定」及び「職員就業規程の改正」については、 案の通り制定、改正することに決し、「役員の報酬等及び費用に関する規程の改正」 については、案の通り総会に上程し、決議を得ることに決した。

#### 第4号議案

議長は、総会の日時、場所及び目的である事項は理事会の決定事項である旨の説明をし、総会の日時、場所及び目的である事項の決定を諮ったところ、出席理事全員異議なく次の通り決した。

#### 平成28年度通常総会

- 1 日 時 平成28年5月30日(月)16:30~17:30
- 2 場 所 ANAクラウンプラザホテル新潟 新潟市中央区万代5丁目11番20号
- 3 目 的

#### 決議事項

第1号議案 平成27年度の事業報告及び決算の書類の承認について

第2号議案 役員の選任について 第3号議案 規程の改正について

#### 報告事項

平成28年度の事業計画書及び収支予算書等について

なお、総会に出席できない正会員については、書面による議決権の行使、または 代理人による議決権の行使が了承された。

#### 第5号議案

議長は、当法人の専務理事は、総務部長を兼務していることから役員の報酬は支給せず、職員給与を支給しているが、新たに総務部長を配置することから兼務を解き、専務理事の定例報酬月額を35万円にしたい旨説明の後承認の可否を諮ったところ、出席理事全員異議なくこれを承認し決した。

#### 報告事項

業務を執行する理事の職務の執行の状況について事務局から報告した。

#### Ⅱ-2 平成 28 年度通常総会

- 1 日 時 平成 28 年 5 月 30 日 (月)
- 2 場 所 ANAクラウンプラザホテル新潟

新潟市中央区万代5丁目11番20号

3 正会員総数及び定足数

総数 219 名、定足数 110 名

- 4 出席者数
  - (1) 出席正会員 53 名(うち代理出席者 21 名)
  - (2) 書面表決(賛成)正会員 144名
- 5 会長挨拶
- 6 議 案

#### 決議事項

第1号議案 平成27年度の事業報告及び決算の書類の承認について

第2号議案 役員の選任について

第3号議案 規程の改正について

#### 報告事項

平成28年度の事業計画書及び収支予算書等について

#### 7 議事の経過及びその結果

(1) 定足数の確認

事務局から定款第18条に定める定足数を満たしている旨の報告がされた。

(2) 議長及び議事録

定款第 16 条の規定に基づき南波会長が議長となり、議事録には、議長及び五十嵐 理事、渡邊理事が署名又は記名押印することとなった。

(3) 議案の審議状況及び議決結果等

#### 第1号議案

議長の求めに応じ、事務局から平成27年度の事業報告及び決算の書類について 説明した。

議長は、監事に監査報告を求め、髙橋監事より監査報告書の通り指摘すべき事項 はない旨報告があった。 次いで、議長が平成27年度の事業報告及び決算の書類の承認を求め、全員異議なくこれを承認したので可決した。

#### 第2号議案

議長は、当法人の理事 立石 晶、田中 紳、西村 陽造 の3名が人事異動等により本総会終了後辞任することから、その補欠として「役員候補者名簿」のとおり選任したい旨説明のあと可否を諮ったところ、全員異議なく以下の者を選任することに決した。

理事 植 木 豊 株式会社植木組新潟支店 支店長 理事 小 坂 徳 夫 新潟水先区水先人会 水先人 理事 山 田 浩 一 東洋建設株式会社新潟営業所 所長

なお、任期は、定款第27条の規定により、平成29年開催の通常総会の終結の時 までである旨を告げ、新役員は就任を承諾した。

#### 第3号議案

議長の求めに応じ、事務局から規程の改正案について説明した。

次いで、議長が、規程の改正の可否を諮ったところ、全員異議なく「役員の報酬等 及び費用に関する規程」の改正については、案のとおりの可決、改正することに決 した。

#### 報告事項

議長は、平成28年度事業計画書及び収支予算書等については、平成28年3月17日に開催した理事会において承認された旨を告げ、事務局に説明を求めた。

議長の求めに応じ、事務局から平成28年度事業計画書及び収支予算書等を説明 し報告した。

# Ⅱ-3 業務日誌抄

月 日	内容	
5月10日(火)	平成 28 年度第 1 回理事会	(新潟市)
5月24日(火)	岩船沖洋上風力発電事業に係る航行安全調査 作業部会	(新潟市)
5月25日(水)	平成 28 年事業推進連絡会議	(新潟市)
5月30日(月)	平成 28 年度通常総会	(新潟市)
6月 3日(金)	新潟港(東港区)大型客船入出港に係る航行安全調査 作業部会	(新潟市)
6月 7日(火)	平成 28 年度東北地方海難防止強調運動推進連絡会議	(塩釜市)
6月13日(月)	平成 28 年度日本海中部地方海難防止強調運動推進連絡会議	(新潟市)
6月20日(月)	平成 28 年度海難防止強調運動日本海西部地方推進連絡会議	(舞鶴市)
6月22日(水)	岩船沖洋上風力発電事業に係る航行安全調査 第2回委員会	(新潟市)
6月29日(水)	日本海北部海域における小型船舶の安全対策に関する調査研究 (青森県地区) 第1回委員会	(青森市)
7月 1日(金)	酒田港大型客船入出港に係る航行安全調査 第1回委員会	(酒田市)
7月 6日(水)	新潟港(東港区)大型客船入出港に係る航行安全調査	
	第2回調査会	(新潟市)
7月19日(火)	酒田港大型客船入出港に係る航行安全調査 ビジュアル操船実	
~ 20 日(水)		(東京都)
8月23日(火)	酒田港大型客船入出港に係る航行安全調査 作業部会	(酒田市)
8月30日(火)	酒田港大型客船入出港に係る航行安全調査 第2回委員会	(酒田市)

## Ⅱ-4 業務予定

(1) 浜田港港湾計画改訂に係る船舶航行安全対策調査

第1回委員会 9月6日

第2回委員会 平成29年3月中旬

(2) 会報 119 号発行 12 月下旬

(3) 日本海北部海域における小型船舶の安全対策に関する調査研究 (青森県地区)

第2回委員会 平成29年1月下旬

## Ⅲ 寄稿欄

#### 舞鶴の神様たち(白絲浜神社)

元舞鶴事務所長 山本 勝眞

私は、これまでこの会報に22稿を投じてきました。そのうち「舞鶴の神様たち」のシリーズは14稿になります。この間、かれこれ10年近くになりますが、舞鶴市内には、神社が大小200社余りもあるといわれていますので、まだまだほんの一部を紹介したに過ぎないことになります。

これまで、私の拙い文書、はたまた偏見(自分では正しいと信じていますが)に満ちた 内容のにもかかわらず、ズーと取り上げ続けていただいている日本海海難防止協会に感謝 しつつ、今回も書き続けさせていただいております。

さて、今回は、舞鶴の東地区市街地の中心ともいえる場所に鎮座される、「白絲浜神社」 を紹介させていただこうと思います。

白絲浜神社は、創建時期が大正元年12月となっていますから、おそらく舞鶴市内では、 一番新しい神社だと思います。

舞鶴東地区市街地は、明治22年に旧日本 海軍によって、軍港とされることが決定され ました。そしてその後、軍港整備に関連して、 市街地の開発・造成がなされ、以前は百個に も満たなかった村も急激に発展していきまし た。



開発以前には、寺川の河口付近(現在地よ

り直線距離で700メートル北西の位置)にあった水無月神社が、開発に伴う埋め立ての ため立ち退きとなりましたが、これを機に、現在は八島商店街になっている地域にあった、 「稲荷神社」、「蛭子神社」をも合祀して、現在の地に遷宮され「白絲浜神社」となったも のです。 私は、この神社の前の道路は、しばしば通りますが、神社を見るために立ち寄るのは今 回が初めてでした。この神社境内では昔から、毎年愛知県の方から植木屋さんが来られて 植木市を営まれますので、過去にその植木を求めて、一度だけ境内に入ったことはありま した。いまから20年ほど前の話です。

神社の場所は、国道27号線の南側で、与保呂川の東側、養老通りに位置しています。付近は、一方通行の通りが多くありますので、車でのアプローチには注意が必要です。

神社の入り口は養老通りに面していて、通りから数メートル入ったところに明神型(一番上の笠木の両端が上方に反りあがっている形)の石の鳥居と立派な一対の狛犬(唐獅子)が、参拝する人を迎えます。

さらに十数メートルまっすぐ奥に進むと拝殿、 そしてすぐ後ろにご神殿があります。



ご神殿は、平入(屋根の傾斜の側が正面)の形で、さすがに「古さ」は感じられず、千木が外そぎ(とがった部分が上向き)、勝男木は5本と、男神様が祀られている神社であることを示す特徴がみられます。

神社やお寺は、たいがい東向または南向に建てられているのが一般的ですが、この神社は、なぜだか西向きです。

敷地内のご神殿のさらに奥には、沢山の境内社があり、このあたりは三つの神社を合祀 した名残なのでしょうね。

つくよみのみこと うけもちのみこと ことしろぬしのみこと おおものぬしのみこと ごなんさんじょしん いなだひめの 御祭神は、月読 尊 保食 尊 事代主 尊 大物主 尊 五男三女神 稲田姫 みこと すさのおのみこと くらいねたまのみこと 尊 素戔嗚 尊 倉稲魂 尊

八柱の神々となっています。

実際には、五男三女神は、八柱の神々の総称ですから総勢十五柱の神々ということになります。

オーッ! なんとすごい神社でしょう。一社でこんなにたくさんの神々が祀られているとは・・・? これもまた三つの神社を合祀した名残なのでしょう。

つくよみのみこと

月読 尊 は、日本書紀の神話に登場されますが、あまりはっきりしたことはわかりません。太陽神天照大神に対して夜をつかさどる神であります(つまりお月さま)。

月読尊にまつわる、日本書紀の面白い話。

月読神が、天照大神のお使いとして保食神をご訪問した際、保食神が口から吐き出した食材で饗応した。激怒した月読神は、保食神を殺害。これを聞いた天照大神は、「二度と月読神の顔を見たくない。」と申され、以来太陽と月は、同じ天上には現れない…云々と。



うけもちのみこと

保食 尊は、文字通り食物をつかさどる神様で、豊受 大神(丹後のご出身で伊勢外宮のご祭神です。)、あるいは宇迦御魂(お稲荷さん)の別称とも考えられているようです。 これら二柱は、いずれも食をつかさどる神様ですからね。

とようけのおおかみ

ことしろぬしのみこと おおくにぬしのみこと

事代主 尊は、大国主 尊 のお子神様で、出雲の国譲りのお話に登場されますが、別称を恵比寿さまともお呼びしますから、旧蛭子神社に祀られていたのではないかと思います。事代主尊の像は、釣り竿を片手に鯛を小脇にというものがお父上の大黒様(大国主尊)とともに決まりごとになっていますね。

おおものぬしのみこと

大物 主 尊 は、四国高松の金毘羅宮の御祭神で、「金毘羅さん」と親しまれ全国各地に神社がありますが、この方に関しては諸説あり、

にぎはやひのみこと 饒速日 尊 であるとの有力な説もあります。

初代神武天皇以前に、大和を支配されていた大王、

饒速日尊は、素戔嗚尊のご三男で、諡号を「天 でらすくにてらすひこあめのほあかりくしみかだまにぎはやひのみこと 照国照彦天火明奇甕玉饒速日尊」ともう され、奈良桜井市の大神神社の御祭神としても祀 られています。



ます。

おおひる めむちのみこと

また日向系では、大日霊女貴尊(天照大神)と素戔嗚尊などの間にお生まれになった、 あめのおしほみみのみこと あめのほひのみこと たきりひめのみこと たぎっひめの 五男三女、つまり天忍穂耳尊(男)、天穂日尊(男)、多紀理姫尊(女)、多岐津姫 みこと きょりひめのみこと ににぎのみこと ほほでみのみこと くまのくすひのみこと 尊(女)、瓊々杵尊(男)、火々出見尊(男)、熊野楠日尊(男) の五男三女であります。

記紀神話では、素戔嗚尊がわが身の潔白を証明するために天照大神と素戔嗚尊の間で交わされた「宇気比(誓約ともいわれ、占いのようなものだそうです。)」の際に、素戔嗚尊のお体から三女神が、天照大神のお体から五男神がそれぞれ現出なされたとのお話が載っています。

いずれにしても、これら五男三女神は古くから、各地の神社の御祭神として祀られておられ、記紀以前に出雲、日向、大和の深い関わり合いを示している重要な神々であることは違いないと思います。

すさのおのみこと

素戔嗚 尊 は、二世紀のころ出雲国を中心として、東は能登から南は九州日向までの広いなだひめのみことい地域を支配しておられた方で、稲田 姫 尊 は素戔嗚尊の奥様です。

倉稲 魂 尊、別称では宇迦御魂と呼ばれ、全国に「お稲荷さん」として散在する、稲荷神社の御祭神であります。よくお稲荷さんは狐の神様だと耳にしますが、お稲荷さんには、

狛犬の代わりに狐が座しているので、狐が祀ってあると勘違いされるようです。狐はあく までお稲荷さんのお使いです。

以上、白絲浜神社にお祀りされている神様たちを 紹介しましたが、ほかにも境内社として十二柱の神々 の神社があり、火除けの「秋葉さん」とか「天照大 神」、「八幡さん」なども見受けられました。今回の 白絲浜神社の取材で驚いたことは、情報の中に、大 変興味のある・・・というか、私が過去にいろいろ



と得た知識のうちで、大変重要だと思う神々がたくさんおられたことであります。

その意味で、この稿は、書き足りない事柄がいっぱいある気がしてなりませんが、とり あえず今回はこれで締めくくりさせていただきました。

## Ⅳ連絡事項

#### ☆ 情報をお寄せください!!【編集担当からのお願い】

本会報は、当協会の事業概要、海難防止に関する事項等を掲載した情報誌として昭和59年の創刊から32年が過ぎ、118号となりました。

この機会に、会員各位の近況や自社アピール記事、或いは身近で、耳よりな情報を提供 する場として「会員便り」又は「日本海便り」(検討中)を次号から掲載いたしたいと考え ております。

つきましては、会員各位からの情報提供をお願いいたします。

応募期限は、平成 28 年 11 月 18 日(金)までとし、応募内容は、A4版、1枚~ 2枚程度でお願いします。

(字体、文字数、写真等は校正時に調整し、枚数が多い場合には連載とします。)

なお、自社アピール記事はA4版半分を限度といたします。

問い合わせは、総務部長木原までお願いします。

#### ☆ 簡易型AIS搭載経費助成について

会報 116 号、117 号の巻末に掲載しました簡易型AIS搭載に係る経費の一部助成(簡 易型AIS普及促進事業)については、平成29年度で終える予定です。

平成28年度実施予定分については多くの応募があり、計画数に達しました。